

# 学校経営の大綱

輝け！北斗の星

## 1 学校経営の基本的態度

- (1) 人間尊重の教育活動の推進
- (2) 体徳知が調和し、生きる力を育む教育活動の充実
- (3) 元気で信頼される学校経営の創造



## 2 学校教育目標

### 学校教育目標

体・徳・知の調和のとれた、豊かな人間性とたくましく生きる力を持ち、  
確かな学力を身につけた子どもの育成を図る。

がってしない子ども

- じょうぶな子ども
- 思いやりのある子ども
- よく考える子ども
- がんばりぬく子ども

### 児童の合い言葉

### 《がってしない！ 北斗魂》

- 心も体もたくましい子になろう (たくましく)
- 心の豊かな子になろう (やさしく)
- よく考え、進んで学ぶ子になろう (かしこく)
- がんばりぬく子になろう (ねばりぶよく)

## 3 経営の方針

新学習指導要領、第6次山形県教育振興計画、米沢市学校教育指導の重点を踏まえ、  
「行きたい！ 誇りたい！ 勤めたい！ あこがれの学校づくり」を通して、「北斗ブランド」の確立をめざす。

- (1) 学校教育目標の達成に向けて教職員が一致協力し、「機能する組織体」として活力ある学校経営に努め、本校の教育課題解決に迫る。
- (2) 保護者や地域と連携を密にして、危機管理体制を整え、学校災害や事故の未然防止に努めるとともに、体力を高め、「いのち」を大切にする教育を推進する。
- (3) 学校研究を中核に、「主体的・対話的で深い学びのある授業（探究型学習）」を推進し、一人一人の個性や能力、自主性の伸長を図る。
- (4) 基本的人権を尊重し、豊かなかかわりの中で、「自尊感情と思いやりの心」を育てるとともに、いじめや不登校の未然防止と適切な対応に努める。
- (5) 学校経営と学級経営の一貫性を図り、「共感的な児童理解と対話」を通して、児童・保護者と教員との信頼関係を構築する。
- (6) 保護者や地域と課題や成果を共有し、教育環境を整え、創意ある教育課程を編成するとともに、「内と外に開かれた学校」として「ぶれない(軸)・語り合う(対話)・見届ける(評価)」教育を推進する。

## 4 学校経営の重点及び具体策

### “笑顔”と“対話” “めあて”と“感動”

子どもの自律性（セルフコントロール）の育成

子どもが安心できる居場所づくり

#### (1) 健康でたくましい体と心づくり

##### ～健康安全指導の充実と自律性の育成～

- ・体と心を大切にする「いのち」の教育
- ・運動習慣の形成と運動能力の向上
- ・自己管理能力を育てる健康・安全教育
- ・健康安全に対する意識の高揚と実践力の育成

- 子どもの発達課題を捉えた、体力・運動能力の向上につなぐ体育指導と、子どもの意識や動線を予測した生活指導・安全指導を行う。
- めあてと期間、方法を明確にした取組により、心身の健康増進、安全管理・指導、食育を充実する。
- 「自律性」「思いやり」「公平・公正」「いのち」を重視した道徳教育の日常化を意識するとともに、特別の教科「道徳」の35時間を充実させる。

#### (2) 主体的に学び、伝え合う力を育む授業づくり

##### ～北斗スタンダードによる探究型学習の推進～

- ・めあてとまとめ、リズムのある授業（指導と評価の一体化）
- ・望ましい学習規律、学習習慣の形成
- ・表現活動と読書活動の充実
- ・総合・横断的な学習の創造
- ・学習スキル（読む・書く）の系統的積み上げ

- 北斗スタンダード（学習の仕方・指導法）を活用した探究型学習を日常的に実践する。
- 新学習指導要領の理解を深め、学ぶ意欲を高める課題設定・対話を活かした協働的な学び・深い学びを実感できる振り返りを重視し、資質・能力を育成する。
- 全職員で各種調査を分析し、各種資料を活用した思考力・表現力を育む学習や活動を意図的に仕組み、授業と家庭学習の関連性を大切にする。

#### (3) 自尊感情と思いやりを育む集団づくり

##### ～組織的な生徒指導と特別支援教育の推進～

- ・子ども理解といじめ不登校等の未然防止
- ・居心地のよい学級経営の推進と組織的対応
- ・主体性と協調性を育む特別活動
- ・特別支援教育の視点を活かした指導

- 一人一人が大切にされる居心地のよい学級経営を実現するため、人間関係づくりのプログラムを意図的に設定し、良質なコミュニケーションを大切にする。
- 児童理解に基づく、一人一人のニーズ・困り感に対応した指導を実現するため、特別支援教育・教育相談に係る組織的かつ機動力のある支援体制を充実させる。
- 魅力ある「ひと・もの・こと」との出会いを設定し、感動・発見・探究・感謝のある活動を創造する。

## <具体的実践事項>

### 「ほめて伸ばす 諭して伸ばす」

- (1) あいさつ よりよい人間関係を構築するために、形式的なあいさつを超えて、相手の心情を受け止めたり包みこんだりできる「気持ちのよいあいさつ」を考え実行し、身につけることができる。
- (2) 見通す 一年間の教育活動を俯瞰する「学校の教育重点プラン」と「各学年年間指導計画」により、PDCAサイクルを機能させ、うねりのあるカリキュラムマネジメントを進める。
- (3) やり遂げる やるべきことに最後までしっかり取り組み、見直すことまで行う（凡事徹底）。やり遂げることにより、目標に向かってあきらめずに努力を重ねた先にある本当の楽しさ・感動を追求させる。
- (4) 見届ける 毎日の教育活動において、どんな小さなことであっても最後まで確実に見届け、子どもが伸びる教育活動としての評価ができるようにする。

## 5 職務遂行

教育基本法第9条「学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」ことを常に自覚して教育公務員としての職務を遂行する。さらに、世の人の模範・手本となる「師表」たる教師になろうという意識を持ち続けるとともに、学び続ける教師として常に努力し続ける。また、「攻めの働き方改革」を推進するため、ボトムアップ型の取組を重視する。

- (1) 教育公務員としての倫理観を常に念頭に置き、サービスの厳正を期す。特に、健康でいる責任、信頼を太くする責任を常に自覚する。
- (2) 常に危機意識を高め、法令順守や説明責任を確実に行うとともに、学校災害や事故の未然防止に万全を期す。
- (3) 報告・連絡・相談を適切かつ確実に言い、調和のとれた運営と組織的対応を行う。
- (4) 設備・備品の管理を明確にし、常時点検により、営修繕は早期に処理する。
- (5) 事務処理は責任を持って遂行し、報告・提出の期限を厳守する。
- (6) 経理・会計・出納事務は、複数による担当と確認を行い正確・適正を期す。
- (7) 文書や電子化された情報の分類、処理、保管等の適正を期す。
- (8) メンタルヘルス等の観点から働き方改革を推し進め、全職員で考え、実行する。
- (9) 山形県教員指標に基づき、若手の力を伸ばす・ベテランの力を活かす仕組みにより、実践に結び付く校内研修(OJT)の充実と経営参画意識の高揚に努める。
- (10) 児童・保護者・教職員相互の信頼関係に基づく「熟議・協働」を通して、安全・安心・安定の学校運営を実現する。